

11月5日に行いましたプランクトン調査(播磨灘)の結果をお知らせします。

【概況】

- ・魚毒性を示す有害プランクトン、貝毒の原因となる有毒プランクトンは確認されませんでした。
- ・ユーカンピアは確認されませんでした。
- ・コシノディスカスが広範囲で確認されています。
- ・小豆島南部の沖合でノクテルカ(夜光虫)による着色域が確認されています(11/4)。魚類養殖や活魚の運搬、漁船の航行には十分ご注意ください。

表：2021年11月5日 有害・有毒プランクトン調査結果（単位：細胞/mL * コシノディスカスを除く）

調査地点	水深(m)	シャットネラ属	カレニア・ミキモトイ	アレキサンドリウム属	ユーカンピア・ゾディアクス	コシノディスカス・ワイレシー (単位：細胞/L)
KA23	0	0	0	0	0	360
	10	0	0	0	0	485
	B-1	0	0	0	0	620
KA1	0	0	0	0	0	85
	10	0	0	0	0	100
	B-1	0	0	0	0	95
KA2	0	0	0	0	0	10
	10	0	0	0	0	35
	B-1	0	0	0	0	75
KA3	0	0	0	0	0	5
	10	0	0	0	0	25
KA4	0	0	0	0	0	35
	10	0	0	0	0	45
	B-1	0	0	0	0	20
KA5	0	0	0	0	0	110
	10	0	0	0	0	95
KA6	0	0	0	0	0	10
	10	0	0	0	0	35
KA7	0	0	0	0	0	15
	10	0	0	0	0	20
	B-1	0	0	0	0	30
K4	0	0	0	0	0	20
	10	0	0	0	0	10
	B-1	0	0	0	0	5
T3	0	0	0	0	0	135
	10	0	0	0	0	100
屋島湾	0	0	0	0	0	45
	5	0	0	0	0	125

* コシノディスカスについては試水 200 mL を濃縮して計数し、1L あたりの細胞密度に換算した値を記載しています。

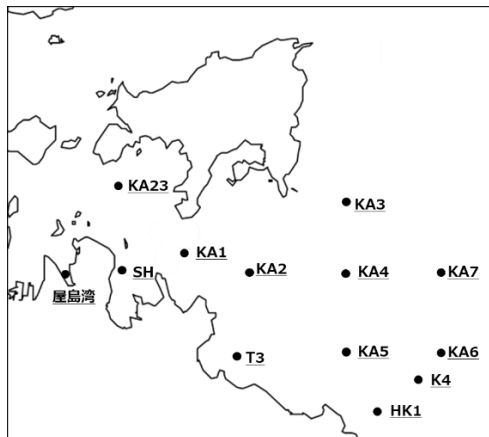
【有害・有毒プランクトンに関するお問い合わせ】

香川県農政水産部 赤潮研究所(担当:小川・松下) 電話 087-843-6511

香川県農政水産部 水産課漁業振興・流通グループ(担当:和田) 電話 087-832-3471

(別紙)

図：調査定点（播磨灘：浅海定線調査事業）



* 調査定点 SH および HK1 は夏季(赤潮発生時期)の臨時点です。

【参考】香川県の有害・有毒プランクトンの基準密度

種名	注意基準	警戒基準
シャットネラ・アンティカ	1 細胞/mL (3 種の合計値)	10 細胞/mL (3 種の合計値)
シャットネラ・マリーナ		
シャットネラ・オバータ		
カレニア・ミキモトイ	10 細胞/mL	500 細胞/mL
コクロディニウム・ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1000 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・タマレンセ	-	5 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・カテナラ	-	50 細胞/mL